

# 2022年度 各種奨学生の募集について

下記奨学団体が奨学金の募集を行っています。申請希望者は学生支援課奨学金担当(朝倉)、学生課学生支援係(岡豊)又は物部総務課学務室(物部)まで問い合わせてください。

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p><b>返還の必要なし</b>            公益財団法人林レオロジー記念財団  <a href="http://www.hayashi-rheology.or.jp">http://www.hayashi-rheology.or.jp</a></p>	<p><b>対象:</b> 未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理学部系の大学院生および大学生、若しくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系等の大学院生および大学生を対象とし、かつ次の①～③の条件を全て満たす人            ①令和4年4月に大学3年若しくは大学4年に進級する人、または、大学院(修士課程)1年生に進学を希望する人若しくは大学院(修士課程)2年生に進級する人            ②品行方正で学習意欲の高い人            ③学業成績が一定水準以上の人            * 前年度応募者および前年度奨学生であっても、応募資格を有する            * 他の奨学金制度に応募し、又は他の奨学金制度を現に利用している場合は、その財団が併給可の場合のみ、応募資格を有する            * 応募を希望する場合は、必ず左記のHP等で奨学金制度について詳しい内容を確認してください            * 応募者多数の場合は、学内選考があります</p>
<p><b>返還の必要なし</b>            公益財団法人 似鳥国際奨学財団            (2022年度上期奨学生)  <a href="https://www.nitori-shougakuzaidan.com/">https://www.nitori-shougakuzaidan.com/</a></p>	<p>・次の①～②すべての項目に該当する者            ①日本国籍を有する人(在留資格が、『永住者』または『定住者』の人も応募可能)            ②学部生:2022年4月1日時点で学部1～4年(23歳以下)、5～6年(25歳以下)に正規生として在籍予定の人            院生:2022年4月1日時点で、修士課程の1～2年(25歳以下)に正規性として在籍予定の人            * 他奨学金と二重受給しないこと(貸与型奨学金は可)            ・奨学生の義務(下記の(ア)～(エ)全ての項目の条件を満たした人に奨学金を支給)            (ア)日本国内に居住している            (イ)毎月期限内にレポートの提出            (ウ)交流会の参加(年2回予定)            (エ)アルバイトに従事している(月20時間以上または、3ヵ月合計60時間以上が目安)</p>
<p><b>返還の必要なし</b>            一般財団法人全国大学生協連奨学財団            (大学生協学業継続奨学金)  <a href="https://www.univcoop.or.jp/syogakuzaidan/index.html">https://www.univcoop.or.jp/syogakuzaidan/index.html</a></p>	<p>以下のすべてに該当し、扶養者が死亡したため、学業継続が経済的に著しく困難な方が対象            (1)全国大学生協連に加入する会員生協のある大学の学部生、院生※留学生は大学生協組合員に限る            (2)扶養者死亡後原則として6か月以内の応募であること            * 扶養者死亡時点で学籍がない場合は、応募できないものとする            * 応募資格等の詳細については、左記のHPで確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b>            G-7奨学財団  <a href="https://g-7foundation.or.jp">https://g-7foundation.or.jp</a></p>	<p>・大学又は大学院に在籍し、学業優秀、品行方正で、学修意欲があり心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助をすることが必要であると認められる者            ・日本国籍を有している者            ・他の奨学金制度との併用・併願は可能(ただし、支給額を調整することがあります。)            ・学力基準:学部学生1年生は、高校3年間評定値が4.0以上の者、学部学生2年生以上は、原則として、GPAが3.1以上の者            その他            * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b>            高知ロータリークラブ            (ロータリー学業支援奨学資金)            (問合せ先:088-824-8660)</p>	<p>次のすべての要件を満たす者(2022年度大学進学者対象)            ・高知市に居住し公立高等学校を令和4年3月末に卒業する者、または高知市以外の市町村に居住し高知市近隣の公立高等学校を令和4年3月末に卒業する者            ・学業、人物ともに優れ、学習意欲が旺盛で、かつ、経済的援助を必要とする者            ・高知大学に現役で合格した者            ・年4回(6月・10月・12月・2月)の夜間例会に3回程度参加できる者(無料)            * 他の奨学金との併用が可能</p>
<p>高知市教育委員会            (高知市大学等奨学資金奨学生)            (問合せ先:088-823-9468)</p>	<p>次の①、②の両方と③～⑤のいずれかに該当する方            ①書類提出期限までに、高知市に本人または保護者が1年以上居住している方            ②修学が経済的に困難な方(生計を同じくする世帯全員の所得により判定します。)            ③令和4年4月以降、大学に入学される方で、高校などを卒業(または高等学校卒業認定試験合格)後2年以内の方            ④大学(大学院を含む)に1年以上在学している方            ⑤大学等を令和4年3月末に卒業された方            * 他の奨学金制度との併用が可能</p>
<p><b>返還の必要なし</b>            公益財団法人 同盟育成会            (古野給付奨学金)  <a href="https://www.doumei-ikuseikai.or.jp/">https://www.doumei-ikuseikai.or.jp/</a></p>	<p><b>(学部生)</b>            ・2022年4月に3年生に進級し、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指して勉学に励んでいる方            ・志操堅固、健康優良で学業成績優秀(1、2年生の成績が優以上の評価が5割以上)な方            ・学費の援助が必要と認められる方  <b>(大学院生)</b>            ・2022年4月に修士課程に進学し、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指し勉学に励んでいる方            ・志操堅固、健康優良で学業成績優秀(学部3、4年生の成績が優以上の評価が5割以上)な方            ・学費の援助が必要と認められる方            * 他の奨学金との併用は可能です。            * 奨学生の義務として、研究レポートの提出、奨学生アンケートの提出、年数回開催する奨学生研修会への参加が必要になります。            * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること。また、応募者多数の場合は学内選考があります</p>

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 吉田育英会 http://www.ysf.or.jp</p>	<p>(マスター21)次に掲げる要件をすべて満たす者 ・日本国籍を有する者 ・2022年4月1日現在において、27歳未満である者 ・2022年4月1日現在において、4年次に在学中の者 ・2022年秋季または2023年春季に日本の大学院修士課程、または一貫制博士課程に入学を希望する者 ・進学先大学院において自然科学系分野を専攻する者 ・他奨学金との併給制限あり * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること。また、応募者が複数いる場合は学内選考があります</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 吉田育英会 http://www.ysf.or.jp</p>	<p>(ドクター21)次に掲げる要件をすべて満たす者 ・日本国籍を有する者 ・2022年4月1日現在において、30歳未満である者 ・2022年4月1日現在において、大学院修士課程の2年次に在学中の者 ・2022年秋季または2023年春季に日本の大学院博士後期課程に入学を希望する者、または一貫制博士課程の3年次に進学もしくは編入学を希望する者 ・進学先大学院において自然科学系分野を専攻する者 ・他奨学金との併給制限あり * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益信託 松尾金蔵記念奨学金基金 (受託者三菱UFJ信託銀行株式会社) https://www.tr.mufg.jp/shisan/kouekishintaku_1ist.html</p>	<p>次の各号に該当すると認められる者 ・文学、哲学(宗教学、美学、美術史を含む)、言語学、人文地理学、文化人類学、教育学、心理学、社会学、史学等(経・法を除く人文社会)を学ぶ令和4年4月に修士課程及び博士課程入学の学生(留学生を除く) ・就学上奨学金の援助必要とする者 ・原則として他の奨学金を受給していない者 ・品行方正、健康で学業成績が優秀な者 ・年齢(令和4年4月1日現在)が30歳以下の者 * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること。また、応募者が複数いる場合は学内選考があります</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益信託 池田育英会トラスト (受託者 株式会社 伊予銀行) https://www.iyobank.co.jp/</p>	<p>次の要件を満たす者 ・愛媛県内の高等学校を卒業した者、または保護者が愛媛県内に居住している者 ・学部2年生(新入生は対象外)～大学院生 ・学業・人物ともに優秀で、経済的支援の必要な方 ・他の奨学金と併せて給付を受けることができる * 奨学生に採用された方は年度終了後、報告書の提出が必要</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 日本通運育英会 http://www.nittsu-ikueikai.or.jp/</p>	<p>下記の①～③のすべてに該当する者 ①保護者等が交通事故で死亡した家庭の学生、又は保護者等が交通事故が原因で重度の後遺障害が残り、就労不能となった家庭の学生 ②上記①が原因で家庭収入が一定基準以下であること ③2022年4月1日現在20歳以下であり、成績が一定水準以上であること * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 一般社団法人三和酒類地域文化振興会</p>	<p>対象者:大分県内の高校を卒業し、2022年4月1日時点で学部1年生であり、下記の要件をすべて満たす者 ・2022年4月1日時点で、原則として満23歳以下であること ・成績要件及び収入要件を満たしていること 成績要件:原則、高校3年間の評定平均値が4.0以上 収入要件:給与収入世帯の場合:世帯合計収入600万円未満 給与収入以外の世帯:自営業などその他収入300万円未満 ・在学する学校長、学長、研究科、専攻長、指導教官等の推薦する者 ・学費の支弁が困難と認められる者 ・心身ともに優れている者 * 希望者には募集要項及び申請書類をメールで送りますので、希望する場合には各キャンパスの奨学金担当に連絡してください * 応募者が多数いる場合は学内選考があります * 奨学生に採用された者が翌年度以降奨学金の継続を希望する場合は、原則、前年度までのGPA(平均値)が3.00以上必要</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 戸部真紀財団 https://tobe-maki.or.jp/scholarship/</p>	<p>・日本の大学及び大学院で修学している者 ・学部学生(3年生以上)、修士課程、博士課程の者※専門職学位課程は対象外です ・年齢が2022年4月1日時点で30才以下であること ・化学、食品科学、芸術学、デザイン学、体育学、スポーツ科学、経営学の分野で修学している者 ・向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者 ・学資の支弁が困難と認められる者 ・奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 その他</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 T.O環境財団 https://to-zaidan.org/</p>	<p>次の各号のすべてに該当する者。 (1)2022年4月1日時点で、学部の3年生又は4年生の者 (2)地球環境保全、廃棄物リサイクル等に関連する教育課程を選択している学生であること (3)学業が優れ、品行が正しく、かつ、健康である者 (4)日本国籍を有している者 (5)親権者(または未成年後見人等)の同意を得ている者 (6)本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員ではないこと * 「コロナウイルス対策として対面での受領が困難な場合」には、「学校長又は学部長等の奨学生推薦書(別紙様式3号)」の代わりに「在学証明書」を提出することが可能 * 他の奨学金や授業料免除、各種経済支援制度の併願、併給に関する制限はありません * 採用された奨学生は、半年毎に年2回、生活状況報告書(財団所定のもの)を財団に提出する必要があります * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p>一般財団法人 トヨタ女性技術者育成基金 http://www.toyota-rikeitosei.or.jp</p>	<p>次のすべての要件を満たす者 ・2022年4月時点で学部の1年生、3年生、大学院の1年生の女性 ・学業成績優秀で、当基金の主旨に賛同し、将来製造業者でものづくりに関わる女性エンジニアとして、活躍していく意欲、熱意のある者 ・理工学系を専攻する者 ・日本国籍を有し、日本に居住している者</p>

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p><b>返還の必要なし</b>            在日本朝鮮人教育会            (朝鮮人奨学生)  <a href="http://kyoikukai.net/syogakukin.html">http://kyoikukai.net/syogakukin.html</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30歳未満の在日朝鮮人学部学生(国籍不問)</li> <li>・本教育会の&lt;奨学制度の目的&gt;に賛同し、指定行事に積極的に参加する意思のある者※左記の奨学金HPを参照</li> <li>・成績が優良で、かつ学費の支弁が困難の者</li> <li>* 本国からの留学生を除く</li> <li>* 大学院生の募集は行わない</li> <li>* 日本学生支援機構を除く他の給付制の奨学金との併給不可。但し応募は可能</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b>            公益財団法人ナガワひまわり財団            (公益財団法人ナガワひまわり財団奨学生)  <a href="http://www.nagawa-himawari.or.jp">http://www.nagawa-himawari.or.jp</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願時に日本国籍を有し、学部生(2~4年)・大学院修士課程に在学する者</li> <li>・出願する年度の4月現在、学部生(2~4年)・大学院修士課程に在学する者</li> <li>・2022年4月1日時点で、原則として学部生は満23歳以下、大学院生は満25歳以下であること</li> <li>・在学する学校長、学長、研究科・専攻長、指導教官等の推薦する者</li> <li>・学費の支弁が困難と認められる者</li> <li>・心身ともに優れている者</li> <li>・成績要件及び収入要件は以下の通りとする</li> <li>(1)成績要件            原則、前年度までの成績(GPA)が3.00以上の者 ※大学院1年生は学部(1年~4年)、大学院2年生は学部(1年~4年)及び修士1年の累計GPAで算出する</li> <li>(2)収入要件            給与収入世帯の場合、世帯合計収入800万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業など他所得が400万円未満 ※収入の種類、金額、世帯構成、通学形態、家庭事情などは考慮する</li> <li>* 大学に推薦書の様式を用意していますので、申請を希望する方は申請期限に間に合うように各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b>            公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団            (日清食品・安藤百福Scholarship)  <a href="https://www.ando-zaidan.jp/innovation/scholarship/">https://www.ando-zaidan.jp/innovation/scholarship/</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①食科学に関連する研究を行う大学院生(修士、博士課程は問いません)</li> <li>②日本国籍を有し、日本の大学院に在籍中の方</li> <li>③学業、人物ともに優秀かつ健康で、学資等の経済的支援を必要としている方</li> <li>④就学及び生活状況を当財団に毎月報告、年度末に当財団指定の書類提出ができる方</li> <li>⑤留学予定の方は応募不可(海外留学を目的とした奨学金でないため)</li> <li>* 他機関の奨学金との併給は可能です</li> <li>* 応募者多数の場合は学内選考があります</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b>            公益財団法人 いであ環境・文化財団  <a href="https://ieaf.or.jp">https://ieaf.or.jp</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の項目を全て満たしていること</li> <li>①令和4年4月1日現在、学部2年生以上の者(大学院博士課程までを含む)で、大学の正規課程において、将来、環境保全の分野で社会貢献を目指すための科目を履修していること、又は芸術分野における作品の創作活動を行っていること</li> <li>②所属大学からの推薦を受けることができること</li> <li>③別途定める学力基準を満たしていること</li> <li>* 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</li> <li>* 応募者多数の場合は学内選考があります(1人の推薦者(アドバイザー教員等)が推薦できる応募者は1名)</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b>            公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団  <a href="https://www.nakatani-foundation.jp">https://www.nakatani-foundation.jp</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医工計測技術および関連分野において博士号の取得を目指す、日本の大学院(博士前期・後期課程、一貫制博士課程)に入学を予定している、または在籍中の日本国籍または日本の永住権を有する者</li> <li>※入学予定者は2022年秋、2023年春に大学院入学予定の者。学部生も応募できます</li> <li>※本奨学金の給付対象期間が1年未満の方は応募できません</li> <li>※民間の奨学金との併給はできません</li> <li>* 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること。</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b>            公益財団法人 似鳥国際奨学財団            (2022年度下期奨学生)  <a href="https://www.nitori-shougakuzaidan.com/">https://www.nitori-shougakuzaidan.com/</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のすべての項目に該当する者(全ての資格は、2022年10月1日時点)</li> <li>・日本国籍を有する者(外国籍を有し在留資格が、「永住者」または「定住者」の人も応募可能)</li> <li>・【学部生】1~4年(医学部医学科の学生は1~6年)に正規生として在籍予定の者(1~4年は23歳以下、5~6年は25歳以下の者)</li> <li>・【大学院生】25歳以下で、修士課程の1~2年に正規生として在籍予定の者</li> <li>・その他</li> <li>* 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</li> </ul>
<p>石川県教育委員会  <a href="https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syomu/ikuei/taiyu_kyufu.html">https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syomu/ikuei/taiyu_kyufu.html</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のすべての要件を満たす者</li> <li>・学部生である者(大学院生を除く)</li> <li>・保護者が石川県内に現に引き続き3年以上居住していること</li> <li>・勉強意欲があり、かつ学費の支弁が困難な者であること</li> <li>・日本学生支援機構奨学金の貸与を受けていない者</li> <li>* 家計急変により奨学金希望する者を対象にした緊急採用制度もあります(申請随時)</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b>            一般社団法人 唐神基金</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のすべての要件を満たす者</li> <li>・2022年4月時点で、学部生(1年~4年)の者(「留年」、「修士」「博士」は応募対象外)</li> <li>・学業、人物共に優秀かつ心身共に健康である者</li> <li>・2021年の同一生計の世帯総年収が600万円以下である者</li> <li>・観光業、若しくは旅館・ホテル宿泊業に興味があり、自分なりの提案を持っている者</li> <li>* 専攻不問</li> <li>* 他の財団からの奨学金受給者も応募可能</li> <li>* 日本在住の海外留学生も応募可能(但し、留学生の方は国際交流室に申請をしてください。)</li> <li>* 過去に応募した方も再応募可能</li> <li>* 申請様式は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b>            公益財団法人 関通物流技術振興財団            (関通奨学金)  <a href="http://kantsu-zaidan.or.jp/">http://kantsu-zaidan.or.jp/</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること</li> <li>(1)日本国籍を有すること</li> <li>(2)理工系学部(工学部)に在籍する学部3年生であること</li> <li>(3)2022年5月31日時点で年齢25才以下であること</li> <li>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること</li> <li>* 学業成績及び家計状況に関して、応募の目安が示されていますので左記の財団HPから確認をしてください</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b>            一般財団法人 オークネット財団            (令和3年度オークネット奨学金[給付型])  <a href="https://aucnet-foundation.org/">https://aucnet-foundation.org/</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること</li> <li>(1)日本国籍を有すること</li> <li>(2)経済系学部(経済学部)に在籍する学部3年生であること</li> <li>(3)令和4年5月31日時点で年齢25才以下であること</li> <li>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること</li> <li>* 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</li> </ul>

団体 (奨学金名等)	応募資格等
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 岡本教育財団 (岡本育英奨学金) <a href="https://www.okamotofoundation.org/">https://www.okamotofoundation.org/</a></p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)経済系学部にて在籍する学部3年生であること (3)令和4年4月1日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 木原財団 (木原育英奨学金) <a href="https://kihara-foundation.org/">https://kihara-foundation.org/</a></p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の理工系学部にて在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 一般財団法人 神保教育文化財団 (神保育英奨学金) <a href="https://jin-edu.or.jp/">https://jin-edu.or.jp/</a></p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の情報工学科にて在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 情報システム工学科、情報通信工学科、電気電子情報工学科、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 バロック村井博之財団 <a href="https://baroque-murai.or.jp/scholar/">https://baroque-murai.or.jp/scholar/</a></p>	<p>・日本国内に居住する者で、日本国内の大学に在籍する日本人学生及び外国人留学生(大学院生は対象外) ・他の給付型奨学金を受給していない学部生 ・本財団が企画する行事(贈呈式等)への参加に協力できる者 * 留学生の方は国際交流室にお問い合わせください * 世帯所得は書類選考の判定に使用しますが、世帯所得による応募制限はありません</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 一般財団法人 LPC Foundation (LPC奨学金) <a href="https://lpc-foundation.org/">https://lpc-foundation.org/</a></p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部にて在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 杉山育英奨学金 <a href="https://www.sugiyama-zaidan.org/">https://www.sugiyama-zaidan.org/</a></p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部にて在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>公益財団法人 宮崎県奨学会 返還免除型、貸与型 (宮崎県奨学会奨学生)</p>	<p>次のいずれの条件をも満たす者 ①宮崎県に本籍を有する者、又は本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者 ②令和4年4月に大学に入学した者 * 免除型奨学金以外の貸与については、在学生の応募も受け付けるが、財団に個別に問い合わせが必要 * 日本学生支援機構・宮崎県育英資金等他の奨学金との併願はできません。ただし、給付型の奨学金との併用は可能 * 申請様式は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください</p>
<p>一般財団法人 あしなが育英会 (大学・大学院奨学生) <a href="http://www.ashinaga.org">http://www.ashinaga.org</a></p>	<p>・保護者が病気や災害(道路上の交通事故を除く)、自死などで死亡、または保護者が1級から5級の障がい認定を受けており、経済的な援助を必要としている家庭の子ども。※1997年4月2日以降に生まれた方が対象 * 奨学生に採用された方は、毎年度末に学業成績表・生活状況報告書の提出すること及び毎年春と秋に行われる「あしなが学生募金」への参加が必要です。 * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p>一般財団法人 関育英奨学会 <a href="https://www.seki-ikueikai.or.jp">https://www.seki-ikueikai.or.jp</a></p>	<p>・2～4年生の学部生 ・人物・学業とも優秀かつ健康でありながら、学資の支弁が困難と認められる者で、在学する学校の推薦した者 * 貸与型奨学金のため留学生は対象としておりません * 申請希望者は、生計維持者の所得証明書類を申請書類と併せて提出してください。また、当財団のHP記載の奨学金貸与規定を必ず確認してください * 応募者多数の場合は学内選考があります</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 川村育英会奨学生</p>	<p>・学部2年次、又は大学院修士課程1年次に在学し、以下の項目すべてに該当する者 ・化学、応用化学、化学工学などの化学系、および、機械、電気電子工学系を専攻 ・父母及び生計を一にする家族の年間収入が500万円以下(祖父母の年金収入は除く) ・成績証明書記載の学業成績に占める、80点以上の成績評価の割合が50%以上 * 奨学生に採用された者は「奨学生授与式、奨学生交流会及び講演会」に出席が必要 * 応募者多数の場合は学内選考があります * 申請書類は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口に来てください</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 一般財団法人 山村章奨学財団 (山村章育英奨学金) <a href="http://yamamura-scholarship.org/">http://yamamura-scholarship.org/</a></p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の工学系学部にて在籍する学部3年生であること (3)募集年度4月1日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 工学部及びこれに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p>公益財団法人 交通遺児育英会 (大学・大学院奨学生) <a href="https://www.kotsuiji.com">https://www.kotsuiji.com</a></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込時25歳までの学生</li> <li>・保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含む</li> <li>* 応募書類・応募方法等については本法人HPより確認すること</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人原・フルタイムシステム科学技術振興財団 (原・フルタイムシステム育英奨学金) <a href="https://hara-kagaku.org/">https://hara-kagaku.org/</a></p>	<p>以下の(1)～(6)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)日本国籍を有すること</li> <li>(2)国内の大学・大学院の工学系学部又は工学系研究科に学ぶ者であること</li> <li>(3)新たに学部3年生又は修士1年生となる者であること</li> <li>(4)募集年度4月1日時点で年齢30才以下であること</li> <li>(5)経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>(6)就学状況及び生活状況について適時報告できること</li> </ol> <p>* 応募書類・応募方法等については本法人HPより確認すること</p>
<p>清流の国ぎふ大学生等奨学金 <a href="https://www.pref.gifu.lg.jp/page/14710.html">https://www.pref.gifu.lg.jp/page/14710.html</a></p>	<p>次のいずれにも該当する方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の高等学校等もしくは特別支援学校の高等部及び専修学校の高等課程を卒業並びに高等専門学校の第3学年の過程を修了した者</li> <li>・県外に住所を有し、かつ、県外の大学等に在学していること</li> <li>・申請時に、三親等内の親族で成年者であるもののいずれか又は連帯保証人が県内に住所を有すること</li> <li>・大学等を卒業した後に、県内で就業する意思があると認められること</li> <li>・経済的理由により修学が困難であると認められること</li> <li>* 制度の詳細及び応募方法等は左記の奨学金HPで確認すること。</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b> 社会福祉法人中央共同募金会 (盛和塾 就職活動応援助成) <a href="https://www.akaihane.or.jp/seiwajiyuku-2/">https://www.akaihane.or.jp/seiwajiyuku-2/</a></p>	<p>(盛和塾 就職活動応援助成) 原則、以下の要件のすべてにあてはまる者を対象とします</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校卒業時に児童養護施設に在籍していた者で、就職活動する時点で施設を退所して自らの生計を立てている者</li> <li>・2022(令和4)年度に就職活動を実施する予定の者</li> <li>* 過去にこの助成を受けた方は対象になりません</li> <li>* 応募書類、応募方法等については本法人HPより確認すること</li> <li>* WEBフォームで提出すること</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b> 社会福祉法人中央共同募金会 (盛和塾 手に職つけよう応援助成) <a href="https://www.akaihane.or.jp/seiwajiyuku-2/">https://www.akaihane.or.jp/seiwajiyuku-2/</a></p>	<p>(盛和塾 手に職つけよう応援助成) 原則、以下の要件のすべてにあてはまる者を対象とします</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校卒業時に児童養護施設に在籍していた者で、現在は施設を退所して自らの生計を立てている者</li> <li>・国家資格等の取得を目的にその養成課程を有する大学に進学し、現に在学している者</li> <li>* 過去にこの助成を受けた方は対象になりません</li> <li>* 応募書類、応募方法等については本法人HPより確認すること</li> <li>* WEBフォームで提出すること</li> </ul>
<p><b>返還の必要なし</b> 一般財団法人 KAWAJIRI FOUNDATION (川尻育英奨学金) <a href="https://www.kawajiri-foundation.org/">https://www.kawajiri-foundation.org/</a></p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)日本国籍を有すること</li> <li>(2)国内の大学の経済系学部在籍する学部3年生であること</li> <li>(3)応募締切日時点で年齢25才以下であること</li> <li>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること</li> </ol> <p>* 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 日本国際教育支援協会冠奨学金事業 (JEES・MUFG緊急支援奨学金(一時金)) <a href="http://www.jees.or.jp/sc-scholarship/index.htm">http://www.jees.or.jp/sc-scholarship/index.htm</a></p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)令和4年4月に、日本国内の大学及び大学院に在籍する日本人学生(日本への永住が許可されている者を含む)又は令和4年4月に日本に在留している私費外国人留学生のうち、在留資格が「留学」である者</li> <li>(2)新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的な損失が発生し、学修の継続に経済的支援を必要としている者(例:アルバイトを失業した者、アルバイト収入が新型コロナウイルス感染症蔓延以前と比較して大幅に現象した者、家族からの仕送りが減少した者等)</li> <li>(3)これまでにJEES奨学金、JEES冠奨学金を受給していない者、又は受給予定でない者</li> <li>(4)人物が優れていて、学修に真摯に取り組んでいる者</li> <li>(5)令和4年4月に在籍する大学の長の推薦を受けることができる者</li> </ol> <p>* 新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的な損失が発生していることを示す証明書の提出が必要ですが * 私費外国人留学生の方は在留資格がわかる書類を提出してください * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること。また、応募者多数の場合は学内選考があります * 応募書類・応募方法等については本法人HPより確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 一般財団法人 中村財団 (中村育英奨学金) <a href="https://nakamura-zaidan.org/">https://nakamura-zaidan.org/</a></p>	<p>以下の(1)～(5)のすべてに該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)日本国籍を有すること</li> <li>(2)国内の大学の経済系学部在籍する学部3年生であること</li> <li>(3)応募締切日時点で年齢25才以下であること</li> <li>(4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること</li> <li>(5)就学状況及び生活状況について適時報告できること</li> </ol> <p>* 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 長谷川財団</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の大学及び大学院において就学する者で、学業意欲旺盛、品行方正、健康でありながら、経済的理由等により就学困難な学生を対象とする</li> <li>* 応募書類(様式)は大学から財団に請求するので、申請希望者は5/19(木)までに奨学金担当者に申出をすること</li> <li>* 応募者が複数いる場合は学内選考があります(学部、大学院併せて推薦できる人数は1名です)</li> <li>* 生計維持者の収入に関する証明書の提出が必要になります(所得証明書と令和3年分の源泉徴収票または確定申告書の第一表及び第二表等)</li> </ul>

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p><b>返還の必要なし</b> 一般財団法人 徳島アグリクリエイティブ (一般財団法人 徳島アグリクリエイティブ育英会) <a href="https://agri-tokushima.com">https://agri-tokushima.com</a></p>	<p>・2024年3月以降卒業予定の学部生・院生で、将来徳島県で農林水産業や高等学校農業科、林業科、水産科の教員、又は農林水産業振興に役立つ仕事をしたいと考えている人。 ・学生生活状況の報告義務を果たせる人 * 家計の基準あり * 応募書類、応募方法等については当育英会のHPより確認すること * 事業の目的を達成せられない場合は、返還を要することがあります(詳細は当育英会のHPIにて確認すること)</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 ほくと育英会 <a href="http://www.hokuto-shinkin.co.jp/ikueikai/info.shtml">http://www.hokuto-shinkin.co.jp/ikueikai/info.shtml</a></p>	<p>・学部1年生に在籍中の学生 ・研究意欲の旺盛にして学業優秀、原則として学費の支弁が困難な学生 ・京都府宮津市、京都市(但し旧京北町に限る)、福知山市、舞鶴市、綾部市、亀岡市、京丹後市、南丹市、船井郡および与謝郡に所在する高等学校の卒業生(該当の高等学校は左記の財団HPで確認すること) * 応募希望者の兄弟・姉妹が、現在ほくと育英会の奨学金を受給している場合は、選考されない場合があります * 申請を希望する学生は各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください * 応募者多数の場合は学内選考があります。学内選考がある場合は、財団への提出書類以外にも根拠資料の提出を求めることがあります。</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人 地域育成財団 <a href="https://chiiki-ikusei.com/">https://chiiki-ikusei.com/</a></p>	<p>日本国内に居住する者で、大学又は大学院の地域創生に関連のある学部・学科に在籍し、地域創生に関わる学問を学ぶ学生または地域創生に興味・関心のある学生で、次の各号のすべてに該当する者 ①日本で学ぶ日本人学生及び外国人留学生で、応募時点で満25歳以下の者 ②経済的に恵まれず、修学が困難な者 ③親権者(または未成年後見人等)の同意を得ている者又は親権者に準ずる推薦人の推薦を受けている者 ④本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員でないこと * 申請方法等は左記の奨学金HPで確認すること * 推薦書はアドバイザー教員または、指導教員に記入してもらうこと</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 京都府城陽市教育委員会 (城陽市辻奨学生)</p>	<p>対象:本人または保護者が京都府城陽市内に在住し住民基本台帳に登録されている方 希望される方は下記の①～③のいずれかを選んでください ①勉学奨励金…大学の2年生以上、大学院の1年生以上で、学力が特に優秀と認められる人。 ②スポーツ奨励金…大学、大学院に在学し、全国規模のスポーツの競技会において、特に優秀な成績を収めた人。成績は令和3年度～令和4年度中の成績とします。 ③芸術奨励金…大学、大学院に在学し、文学、音楽、美術等の芸術の全国規模のコンクール等において特に優秀な成績を収めた人。成績は令和3年度～令和4年度中の成績とします。</p>
<p><b>返還の必要なし</b> 公益財団法人林レオロジー記念財団 (学部・大学院奨学生) <a href="http://www.hayashi-rheology.or.jp">http://www.hayashi-rheology.or.jp</a></p>	<p>1. 未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理学部系の大学院生および大学生、若しくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系等の大学院生および大学生を対象とし、かつ次の①から③の条件をすべて満たしていることが必要です。 ① 令和5年4月に大学3年若しくは大学4年に進級する人、または、大学院前期(修士課程)の1年生に進学を希望する人若しくは大学院前期(修士課程)の2年生に進級する人。(9月進学者は除く) ② 品行方正で学習意欲の高い人。 ③ 学業成績が一定水準以上の人。 2. 前年度応募者および前年度奨学生であっても、応募資格を有するものとします。 3. 他の奨学金制度に応募し、又は他の奨学金制度を現に利用している場合は、その財団が併給可の場合のみ、応募資格を有するものとします。 * 応募者多数の場合は、学部選考になります。(各学部1名程度、各専攻1名程度です。) * 選考になる場合、財団が求める書類以外に提出書類が必要になる場合があります。</p>
<p><b>返還の必要なし</b> はばたけ未来の私 (はばたけ未来の私 入学時給付奨学生) (学部生対象)</p>	<p>社会的養護を経験した大学生であり、以下のすべてに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県内に所在する児童養護施設・里親家庭等で生活した経験があること</li> <li>・大学に在籍している1年生であること</li> <li>・明確な目的意識を持って学んでいること</li> <li>・申請者のことをよく知る1名を推薦者とし、名前と連絡先が記入できること(推薦者の方に連絡させていただく場合があります。どなたが適切か、ご自身でお考え下さい)</li> <li>・他の奨学金との併願も可能です</li> </ul> <p>※本奨学金応募に関する書類作成・提出は奨学金を希望する本人が行うこと ※募集要項は、各キャンパスの奨学金窓口へ申出をするか、右記の連絡先へ問い合わせし、請求すること</p>
<p><b>返還の必要なし</b> はばたけ未来の私 (岡山ソーシャルワーカー協会奨学生)</p>	<p>社会的養護を経験した大学生であり、以下のすべてに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県内に所在する児童養護施設・里親家庭等で生活した経験があること</li> <li>・大学に在籍している2年生以上であること</li> <li>・成績は問わないが、明確な目的意識を持って学んでいること</li> <li>・申請者のことをよく知る1名を推薦者とし、名前と連絡先が記入できること(推薦者の方に連絡させていただく場合があります。どなたが適切か、ご自身でお考え下さい)</li> <li>・他の奨学金との併願も可能です</li> </ul> <p>※本奨学金応募に関する書類作成・提出は奨学金を希望する本人が行うこと ※募集要項は、各キャンパスの奨学金窓口へ申出をするか、右記の連絡先へ問い合わせし、請求すること</p>
<p><b>* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。</b></p>	